

令和6年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	公明党
事 業 名	先進地視察 香川県 坂出市 ・高校生起業家育成プログラムと高校生資格取得支援事業について ・高齢者保健・介護予防一体化事業について
事 業 区 分	① 研究研修 レ ②調 査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

・1 若者の人口流出の課題解決のために、高校生に焦点を当て帰ってきたくなるまち住み続けたくなるまちについて、 ・2 健幸都市の実現に向けて、高齢者の健康寿命の延伸のために、関係機関と連携を図ってる事業の取り組みについて
--

2 実施概要

実施日時	視察先	香川県 坂出市
令和 7年 1月 29日(水) 10:00 ~ 11:30	担当部局	建設経済 部 産業観光 課 健康福祉 部 けんこう 課

報 告 内 容	1 市の概要 香川県の中央部に位置し、瀬戸内海に面し、瀬戸大橋の四国側玄関口に当たる。かつて沿岸部にあった塩田の廃止と前後して、番の州工業地帯、林田工業地帯などが造成された。人口は約5万人で、岡山駅までマリナーライナーで40分、高松空港まで車で30分の距離にある。 2 市の特徴 瀬戸内海国立公園に指定されている島々も市域に含まれる。塩田跡地や埋立地に整備された大型コンビナートは石油・石炭製品製造業を中心に発展している。 3 視察事項について ・ 高校生起業家育成プログラムと高校生資格取得支援事業について 坂出市の中心市街地を活用して坂出市を若者が住みたいと思える街にするために、高校生のアイデアをビジネスアイデアにするためのビジネスプランコンテストとして実施している。令和4年度に、LocalHub（民間提案プラットフォーム）を通じて事業の提案を受ける。デジタル田園都市国家構想交付金を活用して、Biz（坂出ビジネスサポートセンター）を中心とした地域内チャレンジ事業で、夏季休暇の時期を中心に、内省教育と起業家教育を用いた自立的、能動的な人材を育成するプログラム。参加者の募集から運営、記録作成や効果分析までの業務を民間事業者に入札という形で委託し、学校との交渉、プレスリリース、実施場所の確保は市で行なった。 また、資格取得支援事業については、坂出市では、企業に対して特許取得補助金を制定したが、学生に対しても何かできることがないか検討していた。市内には、4つの高校が存在し、学科もバラエティに富み、資格取得につながる分野も多いことも事業化したきっかけになった。県教委や各高校にヒヤリングを実施し、好感触を得たこともあり、平成23年度から実施している。 ・ 高齢者保健・介護予防一体化事業について 坂出市の高齢化率は、35.3%。これまでは高齢者の保健事業と介護予防のサービスの実施主体が市と後期高齢者広域連合とバラバラに行われていた。国も健康寿命延伸に向け2040年までに健康寿命を3年以上年延伸するよう取り組みを打ち出した。坂出市では、令和3年度からけんこう課とかいご課、また関係機関との調整を行う企画調整保健師を置き連携を図った。地域の通いの場などへの医療専門職の積極的な関与を行う中で、「健幸チェックシート」を作成し、フレイル・オーラルフレイル予防の意識づけを行なった。また、身近な公民館で健康相談ができる「まちあい保健室」も開設し気軽に相談できる環境づくりにも取り組んでいる。
------------------	--

4 感想

・高校生起業家育成プログラムについては、行政、学校、地域のプレイヤー、支援機関それぞれが繋がりを強めることができるとも良い事業だと思う。高校生が地元に戻ってくる動機づけにもなる。上田市においては、産業関係の部署が積極的に関係機関と連携してほしいと思った。

また、高校生の資格取得支援については、坂出市が、「企業立地推進室」を設置していることから産業関係に力を入れていることがわかる。生徒の資質向上が、都市ブランド力、産業の活性化に繋がるとの信念は、上田市も学ぶべきだと思う。上田市として、高校生だけではなく中小企業にも資格取得の支援を検討してはどうかと考える。

・高齢者・保健介護予防一体化事業については、地域の通いの場への医療専門職の積極的な関与がとても参考になった。上田市も介護予防教室やリハビリ教室には参加者も年々多くなってるが、更にリハビリの専門職との連携を図るためには、坂出市のように坂出リハ連携会（市内の医療機関や介護施設等のリハビリ専門職の集まり）との連携が必要だと思う。また、今後ますますオーラルヘルスケアが重要になってくるが、坂出市は、オーラルヘルスケアリーダー（保健師・保育士・養護教諭・ケアマネなど）が協力企業と連携して市民への普及活動を行っている。上田市にも提案したい。坂出市には大塚製薬という大企業があることが羨ましい。上田市としてできることから始めればよいと思う。

また、上田市の特徴として、女性高齢者の低栄養傾向が高いことが挙げられる。坂出市は、後期高齢者健診の結果から問題がある人に、管理栄養士が個別訪問指導（3～6 ヶ月）を実施している。かかりつけ医との連携を図っているとのことだが、上田市も医師会との連携をとりながら体制づくりをしたらどうか提案したい。



* 視察先の写真等がある場合は添付のこと